



こんにちは

日本共産党市会議員

<議会報告>

玉本なるみ

です

連絡先：日本共産党北地区委員会

☎075 - 432 - 3261

2017年3月②号

<議会報告> 学校統廃合について

北区では楽只、柏野、元町学区の小学校で「統廃合に向けて取り組む」ことをPTAが総会において決議をあげましたが、教育委員会はPTAの会議に参加し、少人数学校の課題などを話しています。玉本市議は、教育委員会が統廃合を進める立場で、誘導しているのではないかと、質しましたが、誘導は否定し、今後、PTAの決議を受け、地域の自治組織が検討され、統廃合の要望が教育委員会に提出され、検討することになると答弁しました。校区が広くなると、通学路が長くなり、低学年の負担が増えます。また、地域の防災拠点である小学校の施設が、資産とされ、民間に貸し出される方針のもと、地域自治組織の意見を聞く必要があると迫りました。元町学区では住民から、アンケートを実施され、地域としても一緒に検討したいという意見を紹介しました。



問題 介護保険・要支援の方の訪問介護の家事援助

身体介護を伴う介護ではなく、家事援助を行う事業所登録が少ない！！4月から、介護保険制度の要支援となる方々に対してのあり方が変わります。要支援の家事援助をする事業所は登録する必要がありますが、昨年12月時点では市内で147事業所しか登録されておらず、これまでと同じく訪問し家事援助を行っても、現行報酬を14%下回ることが問題です。玉本市議が委員会で、問題点を指摘しましたが、根拠もなく、サービス提供はできると答弁しました。

つぶやき：宮前さん、ありがとう！安らかに・・・

東日本大震災による津波と福島原発事故後、日本共産党は福島南相馬市にボランティアセンターをつくり、支援を続けてきました。最初はセンターには交代で人を派遣していましたが、宮前さんは、京都に戻らず、福島に骨を埋める決意で、福島の住人となり、支援活動を続けられました。時々、ボランティアに行く私達と橋渡しの役目も果たしてくれていました。しかし、病気になり、南相馬市では透析する病院がなく、やむを得ず、昨年11月、京都市に戻ってこられ、療養しながら活動を徐々に再開されていたところでした。

急な訃報に残念でしかたありません。震災のあの惨状を



目の当たりにして、何かしなくてはと誰もが思うと思いますが、住まいまで移して、行動に移すなんて、なかなかできません。

心から、敬意を表しご冥福をお祈りします。

2015年12月、福島県南相馬市の牛越仮設住宅の集会所で挨拶する宮前さん

共謀罪は、かない危険！

北上革新懇談会主催の共謀罪の学習会に参加しました。講師は川中弁護士でしたが、共謀罪の危険性がとてもよくわかりました。戦前は「国体」（天皇専制）や戦争に反対する思想や団体を「治安維持法」で弾圧。日本共産党をはじめ、労働運動、文化活動、宗教者、教育実践などあらゆる分野に弾圧の手が伸びました。「共謀罪」は、現代版「治安維持法」です。一方の方向に国民を誘導し、違うことをいうと、罪になる。本当におそろしい法律です。集会後、堀川丸太町で、アピール行動しました。左端が玉本市議



お願い：上賀茂学区の日本共産党の後援会センターとなる物件を探しています。ぜひ、ご紹介ください！お願いします。



無事名古屋ドームにゴールした二人の娘たちと。

先日、娘2人が、名古屋ウィメンズマラソンに初出場するというので、応援に行った。この大会は制限時間が通常より1時間長い7時間であることや、アップダウンが少なく走りやすいコースであること、完走者にはスポンサーのティファニーからペンダントが送られること有名で、女性に人気のマラソン大会らしい。参加競争率も高く、申し込んでもなかなか当たらないとのこと。それが、またま、横浜、宇治という別々の地でマラソンを始めた娘2人が走るというので、夫と応援に行った。名古屋は地下鉄路線が多く、『下二エコ切符』という一日乗車券を600円で購入し、3キロ、10キロ、20キロ、30キロ、36キロ、40キロとたくさんの地点で応援することができた。娘たちも、応援に行ったことを喜んでくれたようだった。約2万人のランナー達の姿は圧巻で、マラソン人口の多さにも驚いた。マラソンという超過酷なしんどいスポーツに、こんなにも多くの人がなぜ、挑戦しているのか・・・大いに刺激になった。娘たちの頑張る姿にも感動した！和太鼓や吹奏楽などにはチャレンジしているが、やっぱり何かスポーツも・・・と思っている。どうしたらいいかな。

子どもの頑張る姿を見て

アンテナ



終
本
の
方
月

